

日本放送協会放送文化賞は、1949年度に創設。放送事業の発展に寄与し、放送文化の向上に特段の功績があったと認められる方々に対して贈呈しており、今回の6人を合わせ、これまでに422人が受賞。(これまでの受賞者一覧⇒p.736)

### いまむら ふみりこ 今村 文彦

東北大学災害科学国際研究所津波工学教授

津波の被害や対策をはじめ津波工学の分野で世界的な権威。近年の主要な津波災害ではNHKや世界のメディアの報道、番組に出演、津波の発生メカニズム、防災対策などを提起し続けている。2011年3月11日の東日本大震災が引き起こした巨大津波では現地調査団をまとめ、正確なデータによる被害の実態をメディアに提供するなど緊急報道に広く貢献した。

〔主な出演番組〕

『NHKスペシャル』「大津波が襲った・奥尻島からの報告～徹底取材・その時何が起こったのか」(1993 総合)、「東日本大震災～被災地は訴える～復興への青写真」(2011 総合)、「MEGAQUAKEⅡ 巨大地震～第2回 津波はどこまで巨大化するのか」(2012 総合)、『緊急報告 スマトラ沖地震～巨大津波はなぜ起きたのか』(2004 総合)、『サイエンスZERO』「大津波の正体に迫れ」(2005 Eテレ)

### うちだ かつお 内田 龍男

国立高等専門学校機構理事、仙台高等専門学校校長

液晶材料の基礎研究からデバイス開発まで表示分野の研究を長年にわたり先導し、大画面・高画質のハイビジョン液晶ディスプレイの実現に多大なる貢献をした。特に、液晶材料評価やカラー化、高速化、広視野角化などの技術を先駆けて開拓し、液晶ディスプレイの草分けの一人として国際的にも指導的な役割を果たしてきた。

〔主な出演等の番組〕

『NHKニュース』「東北大学の研究グループ高画質の液晶画面を開発」(1997 総合)、『おはよう関西』「低電力・高品位の液晶画面開発」(2003 総合)、『てれまさむね』「新キャンパスで町づくりを」(2008 総合)、『ニュースWAVE宮崎』「ディスプレイの最新技術を紹介」(2009 総合)、『ニュース・気象情報』「東松島の復興 仙台高専が技術指導」(2012 総合)

### おおはら けんいちろう 大原 謙一郎

公益財団法人大原美術館理事長

大原氏が理事長を務める大原美術館は日本初の西洋近代美術館で、エル・グレコの「受胎告知」をはじめ、モネやゴッティンなど世界の巨匠の作品百余点を所蔵しており、日本で西洋近代美術を語る上で欠かせない。大原氏は、『日曜美術館』など数々の番組に出演・協力し、視聴者が第一級の芸術にテレビを通して触れる機会をつくり、放送文化の向上に多大な貢献をした。

〔主な出演等の番組〕

『日曜美術館』「夢の富士山 傑作10選～巨匠たちの知られざる物語」(2013 Eテレ)、「沈黙の風景～松本竣介・ひとりぼっちの闘い」(2012 Eテレ)、「アクションから生まれた革命～ジャクソン・ポロック」(2011 Eテレ)、『新日本風土記』「倉敷」(2013 BSプレミアム)、『視点・論点』「美術館の役割と文化」(2013 総合)、『極上美の饗宴』「藤田嗣治・乳白色の裸婦の秘密」(2012 BSプレミアム)

### しの ひろし 篠 弘

歌人、日本文芸家協会理事長

1978年10月からラジオ第1放送の番組『文芸選評・短歌』の選者を35年の長きにわたって務めている。文学的で高尚なものと思われていた短歌を、ふだんの生活や自然などを詠む一般的なものとして分かりやすく解説し、短歌の普及に貢献した。正月に宮中で行われる「歌会始」の選者を務め、2010年からは短詩形文芸界として初、詩歌人としても初めて日本文芸家協会の理事長に就任している。

〔主な出演番組〕

『文芸選評・短歌』(1979年4月～毎月第3土 R1)、『新春おめでた文芸』(毎年1月3日 R1)、『趣味百科』「短歌」(1992年4月～93年3月 Eテレ)、『NHK全国短歌大会』(毎年1月 Eテレ)、『歌会始』(毎年1月 総合)

ひらお まさあき  
平尾 昌晃 作曲家

歌手・作曲家として数々の大ヒット曲を生みだし、日本の歌謡文化に大きな貢献をしてきた。NHKにおいては、1980年代に『レッツゴーヤング』の司会を務め、同時に新人歌手の発掘・育成に尽力している。2006年からは『NHK紅白歌合戦』において藤山一郎氏、宮川泰氏に引き継ぎ「蛍の光」の指揮を担当している。

〔主な出演等の番組〕

【歌手として】『NHK歌謡コンサート』（総合）、『NHKのど自慢』（総合）、『BS日本のうた』（BSプレミアム）、『思い出のメロディー』（総合）ほか、NHKの歌謡番組に多数出演（総合ほか）

【作曲家として】1979～80年の間『レッツゴーヤング』（総合）の司会を担当、『第57回NHK紅白歌合戦』（2006 総合ほか）以降エンディングの「蛍の光」指揮、『第42回NHK全国学校音楽コンクール』（1975 総合ほか）中学の部課題曲「ともだちがいる」作曲

みやもと のみこ  
宮本 信子 俳優

『大河ドラマ』「毛利元就」、『連続テレビ小説』「まんてん」「どんど晴れ」など、大型ドラマに数多く出演するとともに、長年にわたり映画や舞台の第一線で活躍してきた。2013年の『連続テレビ小説』「あまちゃん」では、ヒロインの祖母役として東北に生きる女性の力強さと優しさをいきいきと演じ、多くの視聴者を魅了した。

〔主な出演番組〕

『連続テレビ小説』「本日も晴天なり」（1981 総合）、「まんてん」（2002 総合）、「どんど晴れ」（2007 総合）、「あまちゃん」（2013 総合）、『大河ドラマ』「毛利元就」（1997 総合）、「天地人」ナレーション（2009 総合）、『名古屋駅前』（1964 総合）、『あしたの家族』「わが道」（1965 総合）、『死にたがる子』（1979 総合）、『ドラマ新銀河』「ゆっくり おダイエット」（1994 総合）、『NHKドラマ館』「さよなら五つのカプチャーノ」（1998 総合）、『月曜ドラマシリーズ』「農家のヨメになりたい」（2004 総合）、『続・遠野物語』（2010 総合）、『こだわり男とマルサの女』（2012 BSプレミアム）